

# 取扱説明書

## 骨伝導ワイヤレスヘッドホン

Ver.3.0

型番: GRFD-BCH BH330



もくじ	ページ
安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	4
充電のしかた	5
使いかた	6
使いかた(パソコンで使う)	10
使いかた(オンライン会議で使う)	12
Bluetoothについて	13
お手入れ	14
本製品の防水性能について	14
故障かなと思ったら	15
リチウム電池のリサイクルについて	16
商品仕様	16
保証書・保証規定	18

- この度は 骨伝導ワイヤレスヘッドホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上の注意」、「充電のしかた」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見ることのできる場所に保管してください。
- 保証書はこの説明書の18ページに載っています。レシートとともに保管してください。

この製品は日本国外でのアフターサービスは出来ません。

No service is available outside of Japan.

# 安全上の注意 必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



## 警告

■絶対に分解したり、改造しない



火災・感電の原因になります。

■火の中に投入したり、加熱しない



破裂による火災・けがの原因になります。

■水につけたり、水をかけない



感電・故障の原因になります。

■本製品内蔵の電池が液漏れした場合は直ちに使用を中止する



発火・炸裂の原因になります。

■本製品内蔵の電池の液が目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師に相談する



失明などの原因になります。

■本製品やケーブルの充電用端子に液体やホコリなどが付着しないように清掃する



発熱・発火・やけどの原因になります。

■運転中は使用しない



自動車、オートバイ、自転車などの運転中はイヤホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対にお止めください。交通事故の原因になります。

■周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない



踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは周囲の音が聞こえないと危険です。事故やけがの原因になります。

■異常・故障時は直ちに使用を中止する



液漏・発火・炸裂の原因になります。

■雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに触れない



感電の原因になります。

■充電中の異常（充電しない、以前より熱くなる、本体が変形したなど）発生時は直ちに使用を中止する




直ちに使用を中止し、ゲオお客様サポートセンターにご連絡ください。


# 安全上の注意 必ず守ること

## 注意


- 本製品に強い衝撃や圧力を加えない

 液漏・発火・炸裂の原因になります。


- 油煙、湯気、湿度、ほこりの多い場所で使用しない

 火災・感電・故障の原因になります。


- 医療機器の近くで使わない

 電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。


- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

 電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。


- 航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う

 電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。


- 大音量で長時間連続使用しない

 聴力障害などの原因になることがあります。


- 使用開始時はボリュームを下げてから装着する

 突然大きな音が出て、耳をいためる原因になります。


- 製品仕様の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は、充電を中止する

 液漏・発火・炸裂の原因になります。


- 直射日光が強いところ、炎天下の車内での使用や保管をしない

 破損・発熱の原因になります。


- 本製品を温度の高くなるストーブ・コンロなどの近くに置かない

 液漏・本体の変形の原因、寿命が短くなることがあります。


- 小さなお子様の手の届かないところに保管する

 誤飲など思わぬ事故をまねくことがあります。


- USBケーブルを抜くときはケーブルを持たずに必ずプラグを持って引き抜く

 発熱・発火・やけどの原因になります。

- 充電中は、本製品および充電ケーブルの周りに物を置かない

 感電・ショートの原因になります。

- ヘッドホンをキャッシュカードなどの磁気カードに近づけない

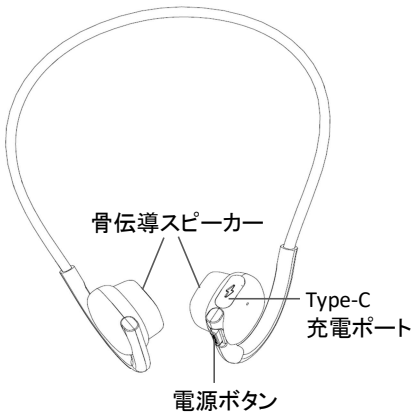
 本製品に内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれる可能性があります。

## 使用上の注意

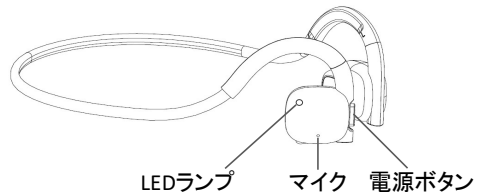
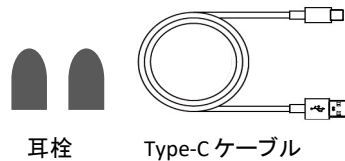
- 走行中の携帯電話・スマートフォンの使用は法律で禁止されていますので、万が一電話をかける場合は安全な場所に停車してから携帯電話機の操作をおこなってください。
- 走行中のご使用にあたっては各都道府県や各地域の条例に従ってください。
- 本製品の使用に関して、お使いの機器のメモリー内容が消去されても保証は一切いたしません。あらかじめご了承ください。
- 補聴器、ペースメーカー、その他の医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器に影響を与えるおそれがあります。誤動作による故障や事故の原因になりますので、本製品を近くでは使用しないでください。
- 交通機関や公共の場所では音量に注意し、周りの方の迷惑にならないようにしてください。
- 本製品の使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- 本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品を使用せず長期間保管した場合、バッテリー性能は低下します。何回か充放電を繰り返すと回復します。
- 本製品は国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合罰せられることがあります。

## 各部の名称

### ヘッドホン



### 付属品



# 充電のしかた

初めてお使いになる前に本製品を満充電してからご使用ください。

## ヘッドホンの充電

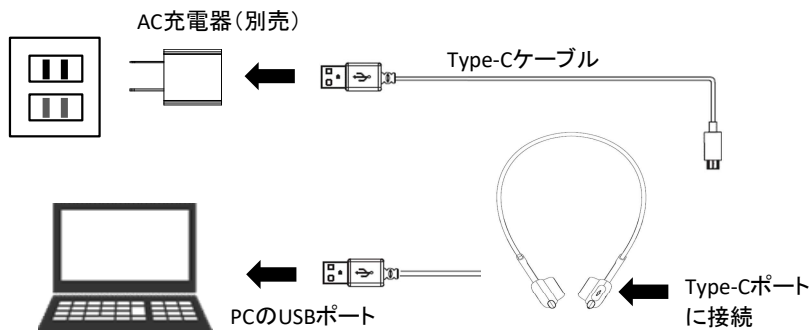
ヘッドホン本体のType-Cポートのキャップを外します。

USB規格に適合したパソコンについているUSBポートやUSBポートのあるAC充電器と付属のType-Cケーブルを使用して充電してください。

充電中はLEDランプが赤に点灯し、満充電になるとLEDランプが緑に変わりますので、ケーブルを外してください。

バッテリー容量が不足すると警告音が鳴り、LEDランプが赤く1回点滅しますので充電してください。

- 充電後はケーブルを外して、キャップを必ずしっかりと装着してください。キャップがズレていると水や汗が浸入して故障の原因になるおそれがあります。
- 充電中はご使用できません。

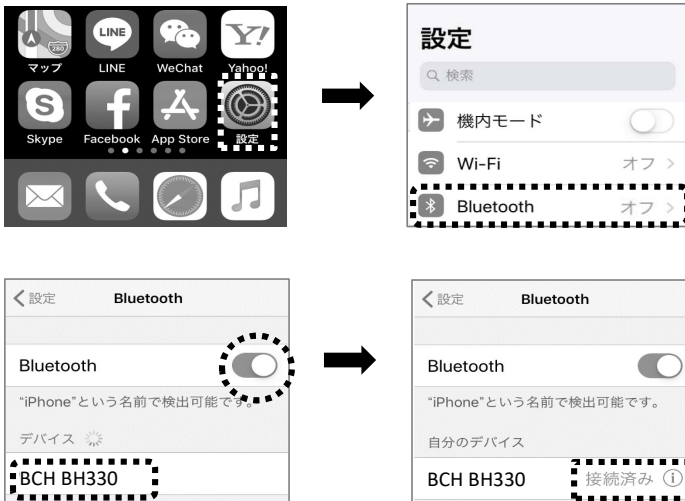


# 使いかた

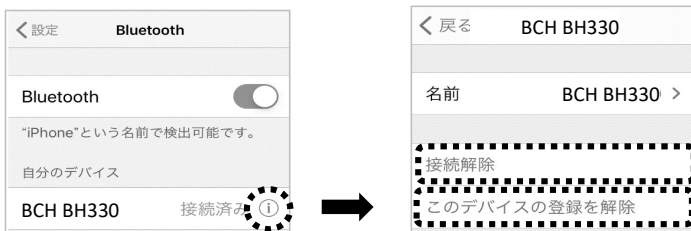
## ペアリング

1. 電源ボタンを約3秒長押しすると、「Power on(パワーオン)」「Pairing(ペアリング)」と音声  
が聞こえて電源がONになり、LEDランプが赤と緑に点滅します。
2. スマートフォンの設定から、Bluetoothを立ち上げます。
3. 検索されたデバイスの一覧から「BCH BH330」をタップします。接続すると「Connected  
(コネクテッド)」と音声聞こえて、LEDランプが消えます。
  - Android端末でデバイス一覧に「BCH BH330」がない場合は、スキャンをタップして  
ください。
  - 接続がうまくいかなかった場合は、スマートフォンのBluetooth接続を解除して、最初  
からやり直してください。

### iPhoneでの参考例



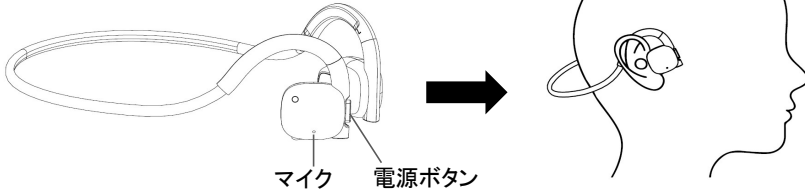
- Bluetooth接続を解除したり、登録を削除したい場合は、デバイス名の右をタップして  
次の画面でいずれかを選択します。



# 使いかた

## ヘッドホンの装着

耳はふさがず、耳の手前の頬骨にスピーカー部分が当たるように装着します。  
左右を間違えないように装着してください。  
電源ボタンがある側が右です。



本製品を装着した上で付属の耳栓をご使用いただくと、より音に集中することができます。  
ただし、耳栓は室内など周囲の音が聞こえなくても安全な環境でご使用ください。

## リセットする

接続がうまくいかない場合や初期状態に戻したい場合は、以下の手順に従ってヘッドホンをリセットしてください。

1. スマートフォンのBluetooth設定でデバイスを削除した後、Bluetooth接続をオフにします。
2. ヘッドホンの電源がオフの状態、電源ボタンを約10秒長押しします。
  - ヘッドホンを装着してリセットする場合（音声で確認）：  
「Power on（パワーオン）」→「Pairing（ペアリング）」→信号音が1回したら手を離します。
  - ヘッドホンを装着せずにリセットする場合（LEDランプで確認）：  
LEDランプが赤と緑に交互に点滅→緑に点灯したら手を離します。
  - そのまま10秒以上長押しし続けると電源がオフになり、LEDランプが消灯します。  
その場合は、再度電源ボタンを約10秒長押ししてください。
3. その後、LEDランプが赤と緑に交互に点滅して、ペアリングモードになりますので、設定しなおしてください。

## 電源を入れる

Bluetoothが接続されていない状態で、電源ボタンを3秒長押しすると、「Power on（パワーオン）」「Pairing（ペアリング）」と音声がかえて電源がONになります。LEDランプが赤と緑に点滅します。

## 電源を切る

Bluetoothが接続されていない状態で、電源ボタンを約5秒長押しすると「Power off（パワーオフ）」と音声がかえて、電源がOFFになります。LEDランプが赤に点灯した後に消灯します。

# 使いかた

## 着信応答

着信時に電源ボタンを1回押します。  
通話を終了する場合は電源ボタンを1回押します。

## 着信拒否

着信を拒否する場合は、着信時に電源ボタンを約2秒押します。

## 再生／一時停止

音楽再生中に電源ボタンを1回押すと、一時停止します。  
一時停止中に電源ボタンを1回押すと、一時停止が解除され、再生を開始します。

## 曲送り

音楽再生中に電源ボタンを約1秒長押しすると曲送りします。

●曲戻しの機能はありません。

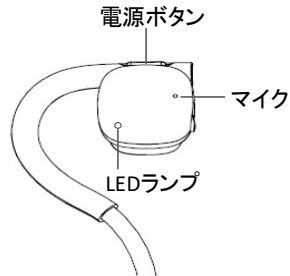
## マルチポイント

2台のデバイスのペアリングを登録しておくので、ペアリングをやり直すことなく、接続を切り替えることができます。

1. ペアリングの手順に従って、1台目のデバイスをBluetooth接続します。
2. 1台目のデバイスのBluetooth接続を解除します。
3. ペアリングの手順に従って、2台目のデバイスをBluetooth接続します。
4. 1台目のデバイスのBluetoothを接続します。  
これで2台のデバイスが接続状態になります。

2台のスマートフォンを登録した場合は、2台とも待受け状態になるので、どちらのスマートフォンに着信があっても、本製品で応答することができます。  
2台のスマートフォンに同時に着信があった場合は、最初にペアリングしたスマートフォンの着信が優先になります。

●スマートフォンとノートPCをマルチポイントで登録した場合、切り替えたときにノートPCの接続が切れることがあります。





# 使いかた

## 音声アシスタント

電源ボタンを2回押すと音声アシスタント(Siriなど)が立ち上がります。  
音声指示してください。音声指示せずにしばらく経過すると元のモードに戻ります。  
その前に解除したい場合は、電源ボタンをもう一度2回押すと元のモードに戻ります。

- 接続した機種によっては、2回押しても解除されない場合がありますので、その場合は時間が経過して元のモードに戻るまでお待ちください。

## その他の機能

- 音楽再生中にBluetooth通信可能範囲外に出て接続が切断されると、「Disconnected (ディスコネクテッド)」「Pairing(ペアリング)」と音声が聞こえます。5分以内に範囲内に戻ると「Connected(コネクテッド)」と音声が聞こえ、自動的にBluetooth接続を復旧します。スマートフォンの音楽再生をタップするかヘッドホンの電源ボタンを1回押すと再生が再スタートします。
- Bluetooth通信可能範囲外で約5分経過すると自動的に電源がOFFになります。

# 使いかた(パソコンで使う)

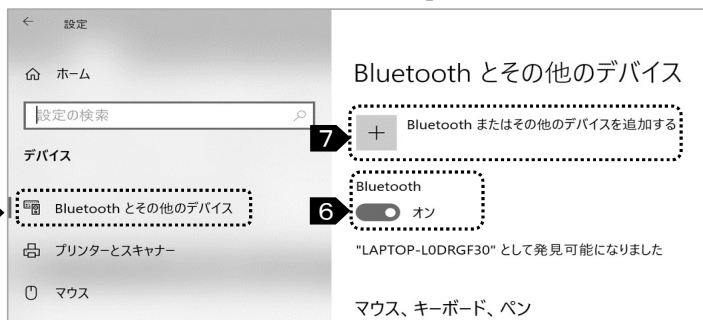
## パソコンで使う

### Windows 10の場合

1. 本製品の電源ボタンを約3秒長押しすると「Power on (パワーオン)」「Pairing(ペアリング)」と音声がかかります。
2. パソコン画面の左下のWindowsマークをクリックして、スタートメニューを立ち上げます。
3. 「設定」をクリックします。
4. 「デバイス」をクリックします。



5. 「Bluetoothとその他のデバイス」をクリックします。
6. Bluetoothがオンになっていることを確認してください。
7. 「Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する」をクリックします。



8. 「デバイスを追加する」の画面が表示されるので、「Bluetooth」をクリックします。



# 使いかた(パソコンで使う)

## 9. 「BCH BH330」をクリックします。



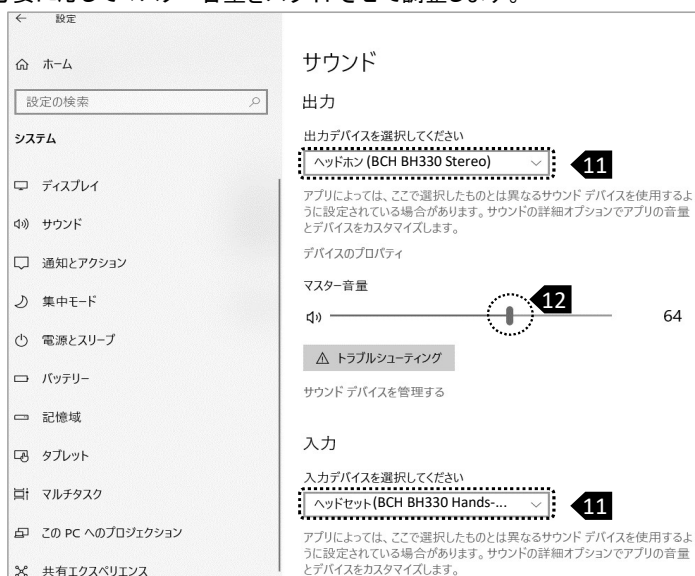
## 10. 接続が完了すると、パソコンに右の画面が表示されますので、「完了」をクリックしてください。



- 5分以内に接続を完了してください。
- 5分以上経過してしまった場合や接続がうまくいかなかった場合は、最初からやり直してください。
- 「BCH BH330」の下に「音声、音楽に接続済み」と表示されていることを確認してください。「音楽に接続済み」の場合はマイクが認識されていないので、接続をやり直してください。

## 11. 音が出ない場合は、パソコンのマイクおよびスピーカーの設定を調整します。パソコンの左下のスタートボタンから「設定」→「システム」→「サウンド」をクリックします。出力と入力で「BCH BH330」を選択します。

## 12. 必要に応じてマスター音量をスライドさせて調整します。



# 使いかた(オンライン会議で使う)

## オンライン会議で使う

ビデオ通話やオンライン会議で使用する場合は、アプリ内のマイクやスピーカーの設定が必要になります。

- 使用するアプリによって設定方法が異なりますので、各アプリの使い方をよく確認してください。

### Skypeの場合

「設定」→「音声/ビデオ」と選択して、マイクとスピーカーを「BCH BH330」に設定してください。必要に応じてスピーカーの音量をスライドさせて調整してください。



### Google Meetの場合

「設定」→「音声」と選択して、マイクとスピーカーを「BCH BH330」に設定してください。



# 使いかた(オンライン会議で使う)

## Zoomの場合

「設定」→「オーディオ」と選択して、マイクとスピーカーを「BCH BH330」に設定してください。  
必要に応じてスピーカーの音量をスライドさせて調整してください。



## Bluetoothについて

- Bluetooth通信の通信範囲は約10mですが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合は、無線LAN機器の電源を切るか、10m以上離れた場所でご使用ください。
- Bluetooth対応製品の音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続した場合、音楽や音声が入り替わることがあります。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証するものではありません。
- 本製品は電波法に基づく技術基準に適合していますので、無線局の免許は不要です。ただし、本製品を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本製品での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでのご使用の場合、映像と音声はずれる場合があります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるまで時間がかかることがあります。

# お手入れ

## ヘッドホン

汗や水が付着したままにしておくと、充電ができなくなる原因となりますので、ご使用後は速やかにふき取ってください。

- お手入れには、乾いた布か、水に浸した柔らかい布をよく絞りお使いください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤・洗剤を使用しないでください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤や石けん水に浸した柔らかい布をよく絞って汚れをふき取り、柔らかい布でふき取ってください。
- 本製品を水や石けんで洗わないでください。

# 本製品の防水性能について

## ヘッドホン本体

本製品のヘッドホン本体は、防水規格IPX6相当の仕様となっています。  
防水性能は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。

- 故意に流水を浴びせたり、水没させないでください。
- 本製品を水や石けんで洗わないでください。
- お風呂やシャワーでの使用は推奨しておりません。
- ヘッドホンについた汗、雨水、海水などをよくふき取ってください。
- お客様の誤った取り扱いにより水や汗の侵入で故障した場合は保証対象外となります。

## 充電用ケーブル

本製品に付属する充電ケーブルは防水仕様ではありません。

- 水がかかる恐れがある場所で使用しないでください。
- 充電後は、充電ポートのキャップは必ずしっかりと装着してください。キャップがズレていると水や汗が浸入して故障の原因となるおそれがあります。

# 故障かなと思ったら

## 電源が入らない

- ヘッドホンの電池残量が低下しています。充電してください。

## Bluetoothデバイスとペアリングできない

- 接続するBluetoothデバイスが使用可能な状態であることを確認してください。
- 接続するBluetoothデバイスが本製品のプロファイルに対応しているか確認してください。
- Bluetoothデバイスの設定でBluetoothをオフにしてから再度オンする、または登録を削除してから、やり直してください。
- リセット(7ページ「リセットする」を参照)してから、ペアリングをやり直してください。
- 本製品とBluetoothデバイスを近づけてからペアリングしてください。
- Bluetoothデバイスが他の機器とBluetooth接続している場合は解除してから、本製品とペアリングしてください。

## ノイズやエコー音が入る

- Bluetoothデバイスとの間に障害物がないか確認してください。
- Bluetoothの通信範囲内(約10m)にあるか確認してください。
- 通信が干渉される可能性のある無線LANのそばで使用している場合は、無線LANをオフにするか、10m以上離れた場所で使用してください。

## 通話相手に自分の声が聞こえない

- スマートフォン、PC、タブレットがBluetooth機能を搭載し、HFP・HSPiに対応している必要があります。
- ご使用の接続機器やソフトの環境により、マイク入力を手動で設定する必要がありますので、それぞれの設定(12/13ページ「オンライン会議で使う」に参考例を記載)をご確認ください。また、対応しない場合がございますので、ご了承ください。ご使用できない場合は、有線イヤホンを推奨いたします。

# リチウム電池のリサイクルについて



この製品にはリチウムイオン電池が使用されています。  
不要になりました電池は廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。  
希少資源を有効に活用するため、リサイクルにご協力ください。

詳細はここから



## 商品仕様

商品向上のため、商品仕様は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

商品仕様	イヤホンタイプ	骨伝導型
	サイズ(W x D x H)	104 x 138 x 43mm
	本体質量	約26g
	使用温度範囲／湿度範囲	5～40℃ 20～75%(ただし結露なきこと)
ヘッドホン部	ドライバー型式	骨伝導
	ドライバーサイズ	φ15.9 x 4.3mm
	音圧感度	85.5dB
	インピーダンス	8Ω
	防水規格 等級	IPX6
	再生周波数帯域	20Hz～20kHz
マイクロホン部	マイク感度	-42dB
通信仕様	Bluetooth	Ver.5.3
	対応プロファイル	HFP, AVRCP, A2DP
	対応コーデック	SBC
	使用周波数帯域	2.4GHz帯
	受信距離／送信出力	約10m／Class 2



# 商品仕様

ヘッドホン部 その他	イヤホン本体バッテリー量	140mAh
	連続音楽再生時間(※1)	約7.5時間
	連続通話時間(※1)	約4.5時間
	連続待機時間(※2)	約150時間
充電仕様	充電電圧	DC5V
	本体充電時間	約2時間
	充電ポート	Type-Cポート
機能一覧	ノイズキャンセル	DNS (Digital noise suppression) ENCマイク (Environmental noise cancellation)
	ハンズフリー機能	○
	自動ペアリング	○
	マルチポイント	○
	音声アシスタント	Googleアシスタント/Siri
付属品	充電ケーブル	充電用Type-Cケーブル(約0.6m)
	耳栓	2個
	取扱説明書兼保証書	保証期間6ヶ月

(※1) 使用時間は50%音量の条件にて算出、接続するBluetooth機器との距離が長い場合など、消費電力が増加するために通話/再生時間が短くなる場合があります。

(※2) Bluetooth接続した状態で音楽再生や通話せずに放置した場合の持続時間。

本製品は工事設計認証を受けています。

